

東京湾海況情報 25-10

東京湾水質調査結果（平成26年1月）

（平成26年 1月16日発行）

千葉県水産総合研究センター
東京湾漁業研究所
〒293-0042 富津市小久保3091
TEL 0439-65-3071
E-mail futtsu-sokuho@pref.chiba.lg.jp
千葉県農林水産技術会議

資料 水質調査 1/7：内湾(わかふさ)、内房海域(ふさみ丸)
関東・東海海況速報(1/7)、東京湾口海況図(1/7)
モニタリングポスト(1/7：国土交通省関東地方整備局)

【 水温・塩分の状況 】

内湾の表層水温(図1)は全域で9~11℃台で、平年並み~やや低めになっています。塩分は30~32PSU台で、平年よりやや高めでした。

一方、内房海域の表層水温は12~16℃台前半、塩分は33~34PSU台で、金谷から久里浜を結ぶライン以南では塩分34PSU以上の水塊がみられ、縦断面の水温・塩分の鉛直分布(図3)をみても、塩分34PSU以上の水塊が久里浜沖付近まで及んでいます。

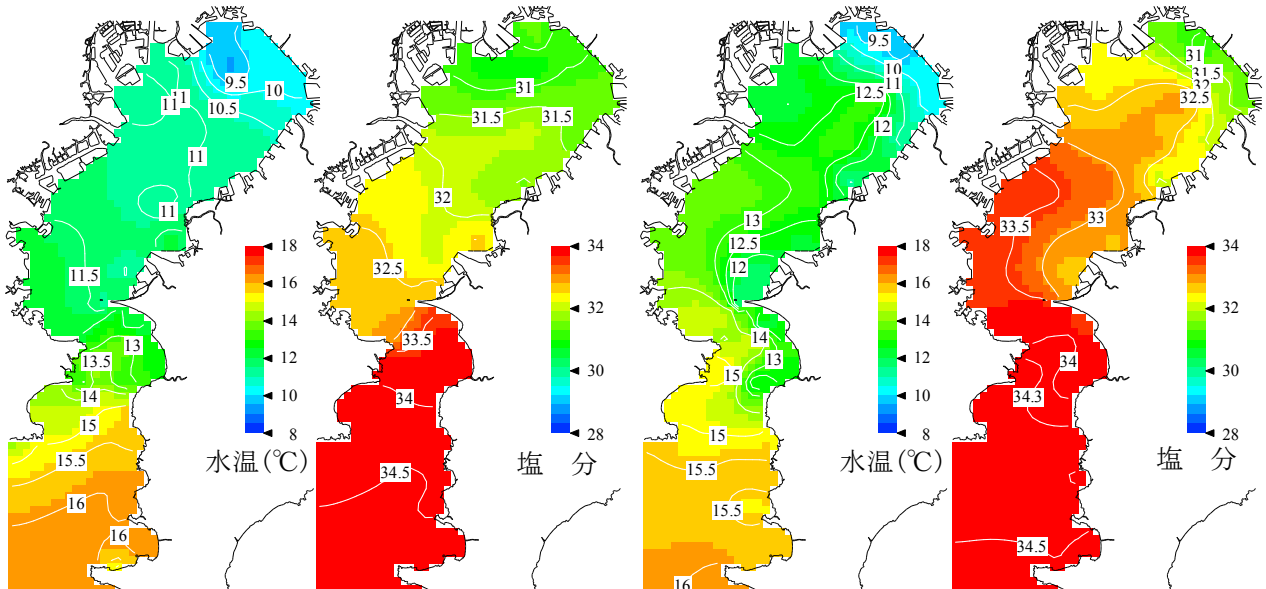


図1 水温・塩分分布（表層）

図2 水温・塩分分布（底層）

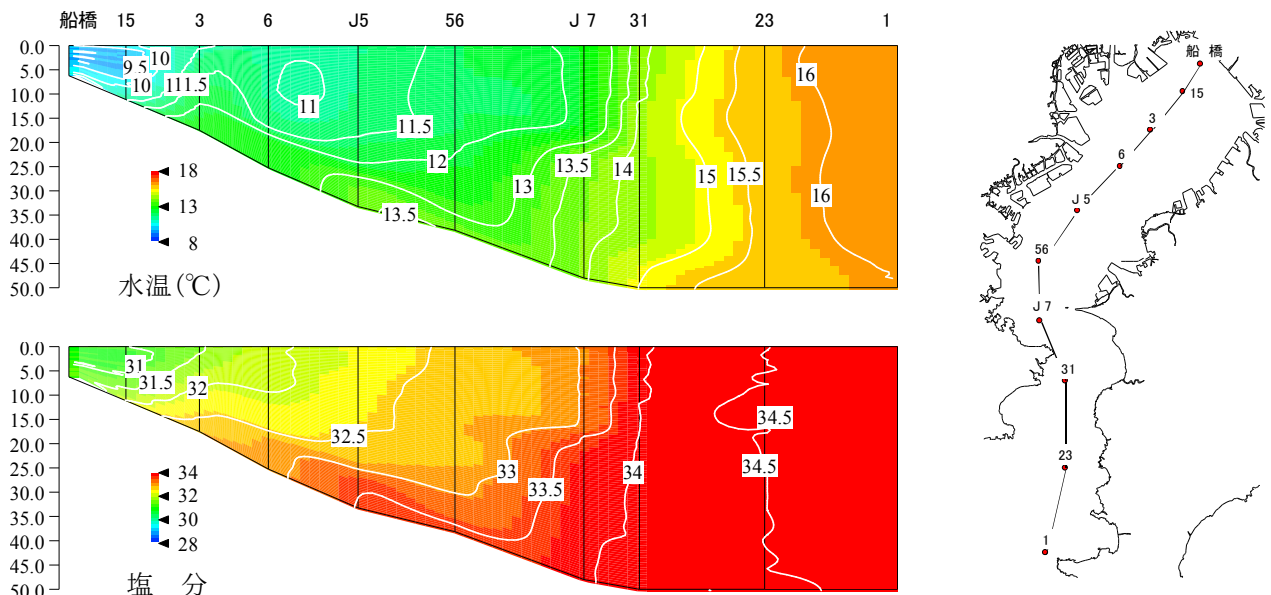


図3 縦断面の水温・塩分の鉛直分布(上：内湾、下：内房海域、右：調査ライン)

【 赤潮の状況 】

赤潮はアクアライン以北の千葉県側で発生し、湾奥ではpH8.5~8.6に上昇、透明度は2m前後に低下し、水色も褐色を呈しています。

優占種はケイ藻のスケルトネマ(*Skeletonema* sp.)で、内湾ではさらに渦鞭毛藻のゴニオラックス(*Gonyauulax* sp.)がやや多くみられていました。

保田から富浦にかけての周辺海域ではプランクトンが非常に少なく、ケイ藻類がわずかみられる程度でした。

これらはいずれも魚貝類に有害な種類ではありません。

※ 千葉県の赤潮の目安は次のとおりです。

色	: オリーブ~褐色
酸素飽和度	: 150%以上
透明度	: 1.5m以下
pH	: 8.5以上
クロロフィルa	: 50 μ g/L以上

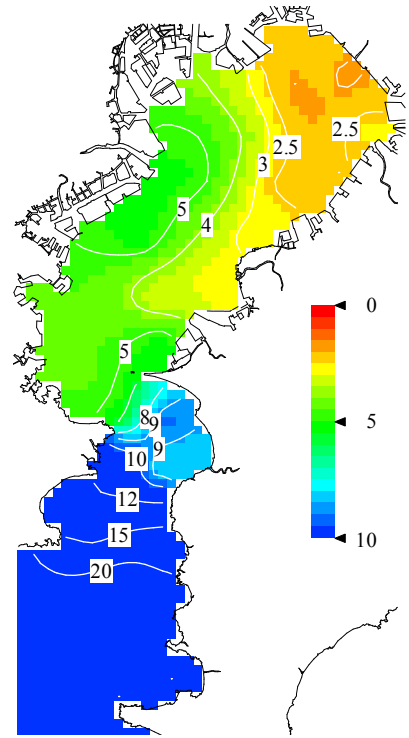


図4 透明度の分布 (m)

【 貧酸素水塊の状況 】

内湾底層部の溶存酸素量(図5, 6)は全域で5ml/L以上あり、貧酸素水塊は発生していません。

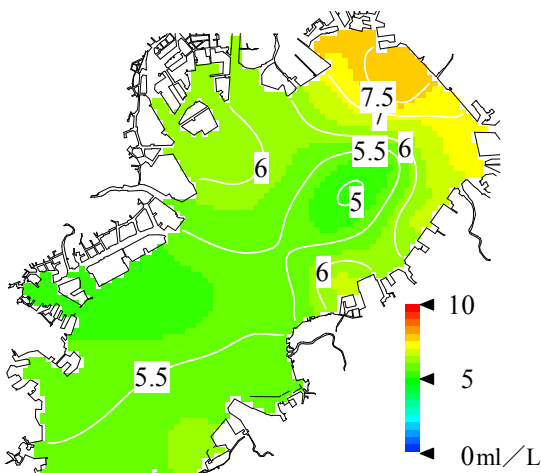


図5 底層部の溶存酸素量の分布(内湾)

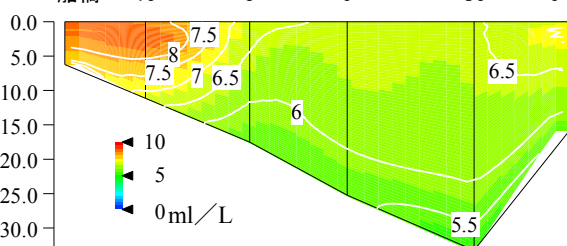


図6 縦断面の溶存酸素量の分布(内湾)

※ 千葉県水産総合センターでは、溶存酸素量2.5ml/L

【 栄養塩の状況 】

湾内の表層栄養塩(図7)は、溶存無機態窒素(DIN))はほぼ全域で平年並みになっていますが、リン酸態リン(PO_4-P)は内湾で平年より少なく、北東部及び盤洲周辺ではかなり少なくなっています。

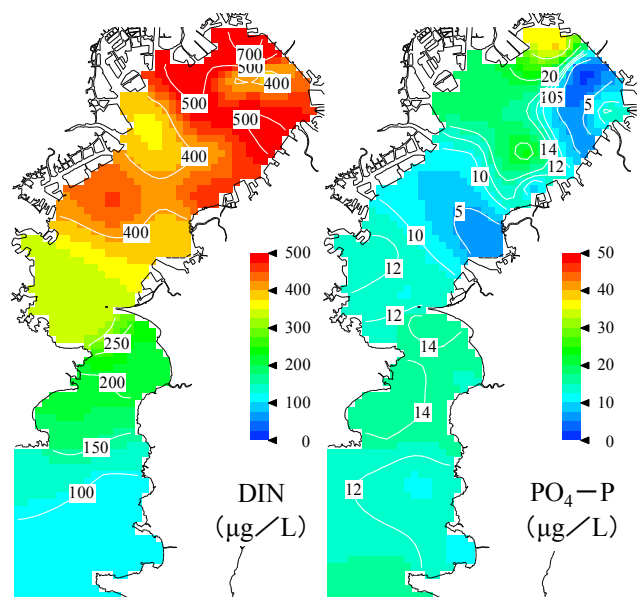


図7 栄養塩濃度の分布(表層)

【黒潮の状況】

黒潮はC型基調で推移し、その流軸は7日現在、青ヶ島の南を通過した後、伊豆諸島東側を北上し、房総半島南東岸を接岸しながら北東方向に流れています(図8)。

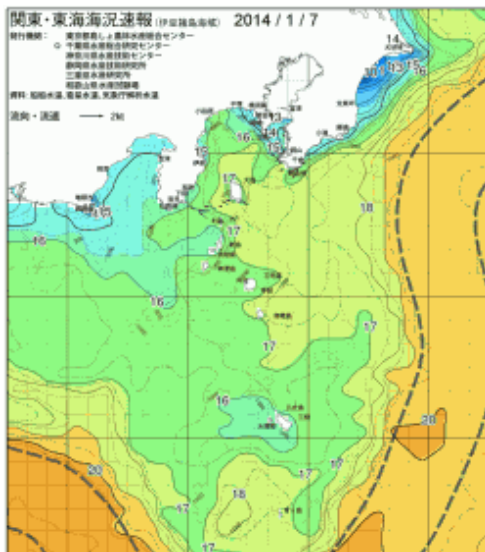
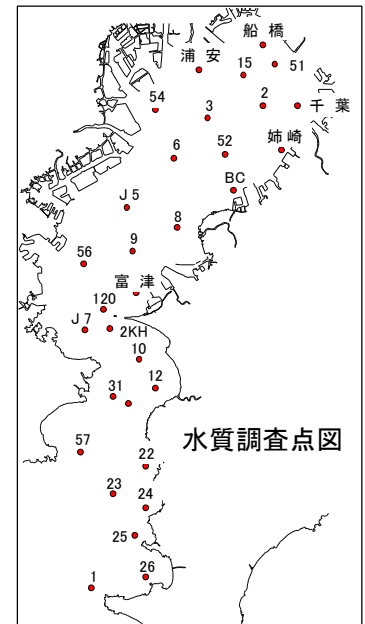


図8 黒潮の動き (平成26年 1月 7日)



水質調査点図

表1 主な調査点の水質調査結果 (表層, 溶存酸素量のみ底層)
(): 最近10年間の平均値 (2003~2012年)

調査点	水温 (°C)	塩分	透明度 (m)	pH	溶存酸素量 (ml/L)	アンモニア態窒素 (µg/L)	溶存無機態窒素 (µg/L)	リン酸態リン (µg/L)	クロロフィルa (µg/L)
船橋	9.8 (10.1)	30.94 (30.49)	2.4 (2.8)	8.5 (8.3)	7.7 (6.5)	202 (47)	797 (543)	37 (23)	分析中
st.15	9.0 (10.6)	30.72 (30.82)	2.0 (4.0)	8.4 (8.4)	6.9 (5.7)	86 (42)	403 (512)	20 (21)	
st.3	11.0 (10.9)	31.45 (30.71)	3.7 (3.9)	8.2 (8.3)	5.6 (5.5)	75 (65)	490 (583)	15 (23)	
st.6	11.1 (11.1)	31.94 (31.26)	5.0 (5.0)	8.1 (8.3)	5.6 (5.2)	34 (37)	370 (477)	11 (20)	
st.9	11.3 (11.4)	32.08 (31.49)	3.4 (5.6)	8.2 (8.3)	5.6 (5.7)	33 (38)	387 (449)	9 (21)	
st.BC (盤洲Cブイ)	10.8 (11.9)	31.46 (31.28)	2.8 (4.1)	8.2 (8.3)	6.5 (5.4)	39 (37)	465 (467)	6 (21)	
st.8 (盤洲A南)	11.0 (11.5)	32.01 (31.46)	3.1 (4.6)	8.2 (8.3)	5.6 (5.2)	5 (30)	378 (431)	3 (20)	
富津	11.0 (11.8)	32.23 (31.50)	5.5 (5.2)	— (8.3)	5.9 (5.7)	41 (31)	348 (401)	12 (21)	
st.2KH (第2海ほ下)	11.5 (12.8)	32.76 (33.02)	5.5 (7.5)	8.3 (8.2)		47 (18)	341 (278)	15 (18)	
st.31	13.8 (14.0)	33.89 (33.28)	11.0 (10.3)	8.3 (8.2)		11 (11)	192 (219)	15 (16)	
st.23	15.9 (16.2)	34.50 (34.31)	23.0 (18.9)	8.2 (8.2)		7 (6)	100 (100)	10 (13)	
st.1	16.2 (16.6)	34.59 (34.42)	20.0 (19.1)	8.2 (8.2)		11 (8)	87 (86)	13 (11)	
st.10 (下洲沖)	13.3 (13.7)	33.71 (33.54)	9.5 (9.3)	8.2 (8.2)		13 (13)	212 (222)	14 (19)	
st.12 (湊沖)	12.8 (13.1)	33.75 (33.36)	8.5 (8.9)	8.2 (8.2)		15 (11)	204 (197)	13 (15)	
st.22 (保田沖)	15.4 (15.8)	34.43 (34.10)	18.0 (15.8)	8.2 (8.2)		6 (8)	118 (109)	13 (13)	
st.24 (富山沖)	16.0 (16.5)	34.49 (34.22)	21.0 (19.5)	8.2 (8.2)		9 (7)	93 (90)	11 (11)	
st.26 (館山湾内)	16.1 (16.3)	34.52 (34.37)	20.0 (19.2)	8.2 (8.2)		8 (8)	90 (86)	10 (11)	

注) 透明度、pH、クロロフィルaの欄の橙色は赤潮の基準に、溶存酸素量の欄の青色は貧酸素水の基準に達していることを示しています。